

フジノハズタ

ミル目イワズタ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

Caulerpa fergusonii Murray

選定理由

能登内浦沿岸で機会あるごとに本種の発見に努めてきた。しかし、いまだに矢波以外では見出されていない。本県では稀な海藻と考えられる。また、本種の北限の生育地であり、学術的にも貴重な海藻である。現時点では地域個体群としておくのが妥当と考える。

形態

体は匍匐枝と直立部からなる。直立部は6～7mmごとにくびれ、対生して小枝を生じる。小枝は長さ1cm、幅5～6mmで頂端は丸い。

国内分布

本州太平洋岸中・南部、四国、九州、日本海南部。

県内分布

能登町の矢波沖の水深16m付近。

生態

漸深帯の深所に生育する。

生息地の条件

矢波は砂泥質の海底であるが、カシパン類や貝類の遺骸（貝殻片）が多量に埋もれており、フジノハズタはカシパン類の貝殻上に匍匐枝を伸ばし、仮根を張って生活している。したがって、本種の生育には貝殻片などの石灰質の着生基盤が必要と思われる。

生存の危機

生態がよく分っていないので言及できない。

特記事項

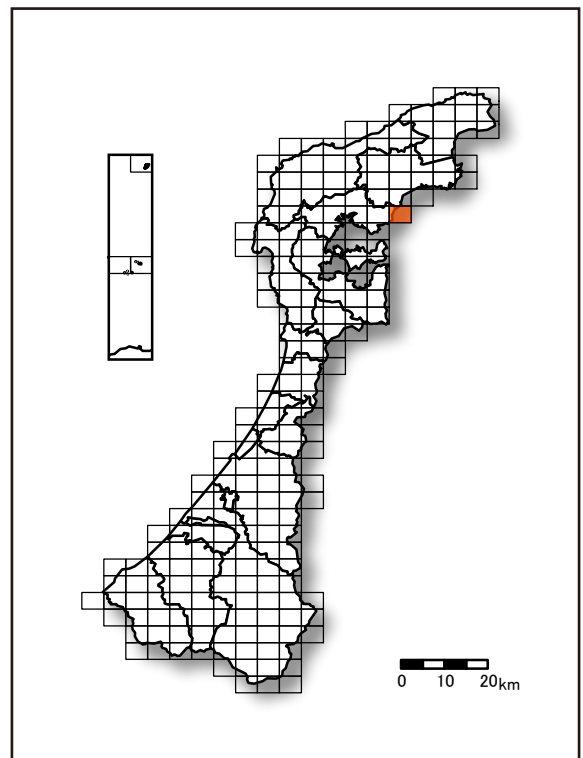
今の所、能登町が本種の北限の生育地。近くの珠洲市の飯田湾は、生物遺骸と思える石灰質を多く含む海底が広がることが知られており、本種の生育が期待できる。今後の調査課題である。

参考文献

佐野 修. 1988. ホソエガサが住む海. 石川の四季と自然, 79p. 石川自然誌研究会, 金沢



写真提供者: 佐野修



県内の分布